

【1】右の図のような9個のマスキ目があってあらかじめ2つの数が書かれている。縦、横、斜めにそれぞれ3個並んだマスキ目内の数をかけ合わせると8組すべてが1になるように残りのマスキ目に数を入れる。このような数の入れ方は無数にあることを説明しなさい。また、その具体的な例を1つ示しなさい。

	6	
	1	

《大阪教育大学附属平野高》

2	6	$\frac{1}{12}$
$\frac{1}{24}$	1	24
12	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{2}$

中央の数が1であるので、
残りの2か所の組合せは
 a と $\frac{1}{a}$ ($a \neq 0$)
 a は無数にあるので、
数の入れ方は無数にある

YouTubeチャンネルも見てね▶『ふじわら塾長』で検索!!

